



2022年9月15日
第39号

JR東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集情宣担当
ホームページ
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



イーハトーブ

9月15日号

8月17日、東京五輪・パラリンピックのスポンサー選定などを巡り、「受託収賄容疑で大会組織委員会元理事と、増収賄容疑で紳士服大手であるAOKEYIホテルディングスの前会長らが東京地検特捜部に逮捕された。

企業の不正行為は今に始まつた事ではない。雪印、赤福、船場吉兆などの産地偽装や消費・賞味期限の捏造、大手ゼネコンによるリニア中央新幹線建設工事受注のための談合、そしてJR東日本の信濃川発電所不正取水問題など、振り返るときりがないほど出てくる。

なぜ、企業は不正行為をするのか?「企業」を調べると「營利を目的として、継続的に生産・販売・サービスなどの経済活動を営む組織体」とある。つまり、企業は利益追求のための組織なのだ。利益を上げるためになら、企業は不正行為をすることも厭わないというのが繰り返される企業の不正行為から言えることではないか。

しかし、私たちは何のために働いているのか?会社の利益を上げるために働いているのか?赤字・コロナ禍で会社の経営が厳しいと言われて、「会社が利益を上げるためになら、賃金も手当ももらわなくて結構です。休憩も取らずに24時間働きます」とあなたは言えるか?私たちは利益追求のためではなく、「自分が生きるために」「自分と家族の生活のために」働いているのではないか。

企業の利益追求の経営姿勢によつて現場労働者がとことんコキ使われ、命まで失われるような事がつてはならないし、生活基盤が失われるような事があつてはならない。同時に、養つてある家族まで犠牲になつてはならない。そして何より、人間としての尊厳が傷つけられるような事があつてはならない。

赤字・コロナ禍と言われ続け、現場労働者の私たちが経営者の目線で物事を見るようになつてしまつてしまつていいだろうか?私たちが安心して働く、生活出来る環境をつくるいくためには、企業の経営姿勢を常にチェックする労働者の目線が必要だ。今こそJR東労組に結集し、安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場をつくり出そう! (M・K)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。